



どくしょかんそうぶん

読書感想文にチャレンジしよう！

読書感想文の募集です。夏休みにチャレンジしてみようと思う人は取り組んでみてください。

たいしょう としよ 対象の図書

◎課題読書 裏面に課題図書一覧があります。自分の学年部の本を選びましょう。

◎自由読書 自由に選んだ図書。（フィクションかノンフィクションかはどちらでもかまいません。）

※教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌（別冊付録を含む）、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書および課題図書は対象としません。

※課題図書であっても該当の学年部以外であれば、自由読書として応募することができます。

（たとえば、3年生が1. 2年生の課題図書を使う→自由読書）

ようし じすう 用紙・字数

◇原稿用紙を使い、縦書きで書きましょう。原稿用紙の大きさ、字詰めに規定はありません。（読書感想文コンクールサイトにも原稿用紙が印刷できるようになっているので、それを使ってもかまいません。）

◇文字数

- ・1、2年生…本文 800 字以内（400字詰め原稿用紙2枚）
- ・3、4年生…本文 1,200 字以内（400字詰め原稿用紙3枚）
- ・5、6年生…本文 1,200 字以内（400字詰め原稿用紙3枚）

◇句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白か所は字数として数えます。

だいめい がっこうめい しめい じすう かぞ
◇題名、学校名、氏名は字数に数えないので、枠外に

書きましょう。

か 書くときのやくそく

○ていねいな字で、習った漢字を使って書きましょう。

○お話から感じたことや、心に残ったところ、物語と似たような体験などをふくらませて書きましょう。

（お話のあらすじは感想文に書く必要はありません。）

か 書くときのポイント

ほん えら ○本を選ぼう

本選びはとても大切です！自分以外の人に伝えたいおすすめしたくなる本や自分の興味のあること、先生や友達のおすすめの本、自分と同じ年齢や境遇の主人公、共感できそうな物語、逆に経験したことがなく興味がそそられる物語…など、本の選び方は様々です。いろいろと手に取ってゆっくりじっくり選んでください。

かんが せいり ○考えを整理しよう

家族や友達に本を読んだ後、話してみると、考えや気持ちが整理できるかもしれませんね。どんな物語だったのか、読んで本から自分がどんなことを感じたり、考えたり、学んだりしたのかなど、会話をしていくうちに、自分の考えや思いが整理しやすくなったり、さらに新たな考えが生まれたりします。

どくしょ つく ふ つかう ○読書メモを作ろう（付せんを使うのもおすすめです！）

読みながら、心に残ったところや疑問に思ったところ、気になったところに付せんをつけて、その時の自分の考えや気持ちを簡単にメモしておくと、読み終わったときに整理しやすくおすすめです。さらに、下の（れい）などの付せんもくわえるといいですね。付せんだと並び替えがしやすいので、簡単にメモを作ることができます。

- （れい）・この本と出合ったきっかけ ・感動したことや不思議に思ったこと
- ・自分と比べて
- 「自分ならこうするのに…」「そういえば自分もこんな経験があったな」
- 「なんでこんなことをしたのかな」
- ・この本で考え方が変わったり、新しい考えに出会ったりしたこと
- 「この本と出合って、こういう考え方があると知った。」
- 「前はできなかったけど、次は主人公の○○みたいにできるかもしれない」

どくしょ さんこう さくぶん なが き か ○読書メモやを参考に、作文の流れを決めて書いていこう

「私は…」で始めても、そうでなくても、書き始めは自由です。

読書感想文コンクールのサイトでは、過去の上位入賞作品を読むことができるので、参考にしてもいいですね。（著作権があるので、絶対に真似はしてはいけません。）

よ かけ ○読み返そう

読み返して文章のおかしなところはないか確認しましょう。

締め切り：9月2日（火）

